

日時：令和3年2月16日（火）午後2時～

場所：多古町役場3階 大会議室

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) パブリックコメント結果について

事務局より説明を行った。説明に関する委員からの意見は特になし。

(2) 総合計画基本構想について

資料に沿って事務局より説明を行った。資料や説明に関する委員からの意見は以下の通り。

(会長)：本計画の特徴は、まず計画期間を前期4年、後期5年の変則的なものに調整していること。この計画期間の調整は、圏央道の開通や成田空港の機能強化の時期に合わせ、多古町の更なる発展に、そのあたりの要因を活用していくためのものである。多古町が空港と共生して発展していくための計画が、今回策定する総合計画であるという部分は、本計画の特徴であると思う。

計画書の修正等に関して、まず私の方から意見をさせていただく。まず1点目。3ページに記載のある「第2期多古町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の、長い計画名が、文章中に何度も出てくるので、最初の所に「(以下、「第2期総合戦略」という。)」を追記していただき、その後の計画名を簡略する方が、わかりやすいと思うので修正していただきたい。

2点目。基本計画の部分にも関わってくる部分でもあるが、31ページの「特色ある教育」を「魅力ある教育」に修正していただきたい。これは、前回会議において、A委員から指摘されたところであると思うので、再度修正をお願いする。

(事務局)：修正する。

(委員A)：文章表現としてわかりにくい部分があるので、指摘させていただく。まず、2ページの中ほどに「策定しました。」という終わり方をしている文章があるが、何を策定したのかわかりにくい。表現の修正を求める。

次に、4ページの「計画の構成と位置付け」というタイトルがあるが、何を位置付けるのかわかりにくいので、修正をお願いしたい。また、同じページの文章中に「連携し取り組みます。」と記載があるが、誰が誰と連携していくのかが読み取りづらい。修正をお願いする。

最後に、「重点プラン」という文言について。計画の中にプランがあるということがしっくりこない。プランも計画なのではないか。「重要視して取り組む事項」等の表現に修正するのはいかがか。

以上の点について、ご検討いただきたい。

(会 長)：事務局の方で検討いただきたい。また、「計画の構成と位置付け」は、総合戦略の位置づけについて記載しているものであると思うので「計画の構成と総合戦略の位置付け」という表現も良いかと思うので、ご検討いただきたい。

(事務局)：検討させていただく。

(会 長)：本計画は、今年度末までに策定となっているが、多古町の中において、同時進行で策定が進められている計画もある。例えば「都市マスタープラン」等がそれにあたる。そのため、今後、それらの策定が進む中で現時点での記載の整合性が崩れてしまう部分も出てくることが考えられる。そのあたりは、庁内において整合性を図っておいただくよう、再度お願いする。

(事務局)：確認させていただく。

(委員B)：前回の会議において出ていた意見であったと記憶しているが、27ページの図はこのままでよいのか。

(事務局)：土地利用に関する図を庁内においても担当課含め検討したのだが、これに替わる良い図が無く、このままとさせていただいている。

(委員C)：前回の会議で、私の方から意見として挙げていた部分。「多古町未来構想」で掲げている図の方がよいのではないかという考えは今でも変わらない。

(事務局)：再度、検討させていただく。また、追加資料として28ページの「施策の大綱」のデザイン案として、現時点において事務局の方で考えているものを配布させていただく。これについても、委員の皆様からご意見いただければと思う。

(委員A)：基本的視点の3つが並ぶ部分は、原案の方が動きがあっていると思うがいかがか。

(事務局)：修正させていただく。

(会 長)：総合計画とは、町の経営戦略。町としての考えや方針を書くことはもちろん重要であるが、まちづくりはやはり住民の皆様と一緒にさせていただくことも必要。そのためには、わかりやすい計画書にしていくことも大事な要素であると思う。デザインの詳細については、事務局一任で良いと思うので、わかりやすい計画書に仕上げたい。

### (3) 総合計画基本計画について

資料に沿って事務局より説明を行った。資料や説明に関する委員からの意見は以下の通り。

(会 長)：私からで恐縮であるが、修正点について伝えさせていただく。

まず、先程出ていた意見についてになるが、「重点プラン」を「重要視して取り組む事項」とするのかの検討をお願いしたい。また、「魅力ある教育」への修正を各所、お願いする。次に、47ページと78ページ「町民が参加できること」の項目に、内容として重複があるので、精査してどちらかを削除すること。また、同様の部分が無いか再度確認してほしい。もう一点、72ページに「地域住民による犯罪を防止する」という表現があるので、修正していただきたい。

(事務局)：修正する。

(委員D)：47ページに「要介護者とならないよう」という表現があるので、修正していただきたい。「健康を維持するため」等の表現にした方が良いと思う。

(事務局)：修正する。

(委員E)：要介護と要介護者となるとまた違った意味合いになってくる。

(会長)：D委員のご提案のように、前向きな表現にした方が良いと思う。

(事務局)：修正する。

(委員A)：「町民が参加できること」の項目の中に、「関心を持ちましょう」という表現がある。もう少し行動を起こせるような文言の方が良いと思うがいかがか。

(委員E)：成田空港に関する項目であれば「見学にってみよう」等の、具体的な行動に繋がるような表現の方が良いと思う。もう一歩先へ進めるよう、それぞれの項目を知るきっかけに繋がるような内容であると良い。

(会長)：多古町は「もう一歩先に」進んでいく、という良い言葉をいただいた。関心を持つことはきっかけの最初であることは間違いないと思うが、行動に移せるような文言にできる部分は検討して行ってほしい。

(事務局)：内容について精査し、関心の先の行動について記載できる部分は、修正していきたい。

(委員F)：各関連計画の計画期間の示し方について、もう少し分かりやすくなると良い。平成から令和になる部分もわかりにくさを助長しているので、全て西暦表記にする等も検討してはどうか。

また、47 ページの線が太いのと細いのがあるのはデザイン化する際に調整いただけると考えておいて良いか。

(事務所)：線の太さはデザイン化する際にしっかりと統一させていただく。また、計画の示し方についても調整させていただく。

(会長)：西暦表記に関しては、大学でも同様の動きがある。多古町としてどういった方針で今後進めていくのかにも関わる部分であると思うので、考えていていただきたい。また、次期計画の色を少し薄くするとより分かりやすくなると思うので、そのあたりも検討してほしい。

(委員B)：38 ページで「心がけていただきたいこと」という表現があるが、もう少し柔らかい表現の方が良いのではないかと思う。「チャレンジしてみたいこと」くらいの方が良いのかなと思う。

(事務所)：検討させていただく。

#### (4) 答申について

(会長)：答申を行う際に、町の方に積極的に進めていただきたい項目についても、一緒に伝えさせていただきたいと考えており、お伝えする項目としては4点を考えている。

1点目は、少子高齢化に関連して人口減少を抑制していくための取り組みをしっかりと戦略的に進めて行ってほしいということ。

2点目は、圏央道の開通や、成田空港の機能強化という、この好機を逃さず、町の発展に繋げて行ってほしいということ。空港と共生するまちづくりをしっかりと進めて行ってほしいこと。

3点目は、交通利便性の向上、安心安全のまちづくりをすすめ、移住定住促進を進めて行ってほしいこと。1・2点目と関連する部分でもあるが、住む場所として「多古町」を選

択していただくことが重要であり、「多古町での暮らしを選択していただく」ための方策をしっかりと進めていってほしいということ。

最後、4点目は、協働のまちづくりをしっかりと進めていってほしいこと。多種多様な主体と連携して、互いに認め合い、夢と志を持ってまちづくりを行っていけるよう、取組を推進していってほしいということ。

以上の4点を、実効性のある計画にしていくため、答申に盛り込みたいと考えている。

委員の皆様のご意見としても問題ないか。

(全委員)：異議なし。

#### 4. その他

今後の大まかなスケジュールについて事務局より説明を行った。委員からの意見は以下の通り。

(会長)：資料編には諮問書と答申書も入るのか。また、答申書については、各委員に配布するか。

(事務所)：どちらも入れさせていただく予定である。また、答申書については、委員の皆様へ送付させていただく。

#### 5. 閉会 午後3時22分終了

以上